

福島第一原子力発電所の状況

2016年1月28日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.6 m ³ /h	15.4 °C	0.91 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	19.9 °C	4.19 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	18.3 °C	0.24 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (1/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.8 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	18.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	7.9 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/28 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	停止中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- 2016/1/26～ 3号機原子炉建屋1階にて、高所用除染装置(ドライアイスブラスト除染装置)による高所部の吸引除染を開始。
- 2016/1/18 11:30 頃、構内の2号機建屋西側付近で、協力企業作業員が土嚢運搬作業を行っていたところ、土嚢とガードレールの間で左手薬指を挟み負傷。その後、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたことから、12:34 に救急車を要請。なお、当該作業員に意識はあり、身体に放射性物質の付着はない。その後、搬送先の病院で診断を受けた結果、「左環指不全切断」(3ヶ月間の通院加療を要す見込み)と診断された。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体作業を開始。

- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- 2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/19]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/27 10:07～16:33 海洋への排水。排水量は 922 m³
- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/21]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/29 海洋への排水予定。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/16]については同等の値であり、共に運用値を満足していたことから、1/27 11:20～18:41 海洋への排水。排水量は 1,827 m³

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エアータンク周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上